氏名	栗延孟	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授				
研究分野	高齢者福祉、認知心理学、介護福祉								
学位	博士(心理学)								
学歴	2008年上智大学理工学部数学科卒業、2011年目白大学大学院生涯福祉研究科生涯福祉専攻修士課程修了,2014年首都								
子座	大学東京大学院人文科学研究科人間科学専攻心理学分野博士後期課程修了								
経歴	2014年筑波大学非常勤研究員,2015年東京都健康長寿医療センター非常勤研究員,2017年日本文理大学助教,2020年								
∓ <u>π± π</u> ±	浦和大学特任講師,2022年浦和大学特任准教授,2024年埼玉県立大学准教授								
所属学会(役職)	日本老年社会科学会,日本心理	学会,日本社会福	福祉学会,日本介護福祉学会,日2	本産業組織心理学	会				

【2024年度実績】

【2024年反关模】									
1. 研究業績									
(1) 著作(著書及びその他の著作物)									
	著作の名称	単・共	ISBN	発?	行所、全ペー	- ジ数	著者、編者名	発行等年月	
1 該当なし									
(2)論文								
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、	開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月	
1	Effects of family caregivers keeping a "Good Things Diary of Caregiving" on mental health, caregiving burden, and positive evaluations of caregiving: A randomized controlled trial	共著	あり		Journal of A Disorders F 17, 10083 10.1016/j.ja 1008	Reports , 0. DOI: adr.2024.		2024年7月	
2	家族介護者が書いた「介護良いこと日 記」のポジティブ度と精神的健康との関 係	共著	あり		浦和論叢, 28.	71, 17-	<u>栗延孟</u> ,富田瑛智	2024年8月	
3	現場介護職員によるわたしたちの介護自 慢大会実施報告	単著	なし		浦和論叢, 84.	72, 73-	栗延孟	2025年2月	
(3)学会発表								
	学会発表の演題	単・共	学	会名、	開催都市		発表者 (発表者は○印)	発表等年月	
1	介護生活における「良いこと」とは-家族 介護者による「介護良いこと日記」の質 的分析-	共同		年社会 奈良市	科学会第66回	回 ○馬場	鳥絢子, <u>栗延孟</u> ,富田瑛智	2024年6月	
2	「介護良いこと日記」が家族介護者の QOL・介護肯定感を高める効果は維持されるのか-「介護良いこと日記」記入から 半年後のデータを用いた検討-	共同	日本老年社会科学会第66回 大会,奈良市		回 〇 <u>栗</u> 延	<u>〔孟</u> ,富田瑛智	2024年6月		
3	飽きたと感じたときに見ていた刺激への 評価の個人差	共同	日本応用心理学会第90回大会,奈良市		〇富田	〇富田瑛智, <u>栗延孟</u>			
4	「介護良いこと日記」を読むことが精神 的健康に及ぼす影響	共同	日本心理学会第88回大会,神戸市		〇 <u>栗</u> 延	<u>£孟</u> ,富田瑛智,馬場絢子	2024年9月		
5	繰り返し提示における「飽き」は何に 「飽き」ているのか	共同	日本心理学会第88回大会, 神戸市		○富田	∃瑛智, <u>栗延孟</u>	2024年9月		
6	他者の「介護良いこと日記」を読む効果 に影響する要因の検討 - 介護に対する肯 定的評価に注目して -	単独	日本社会福祉学会第72回秋 季大会,東海市		 ○ <u>栗</u> 延	○ <u>栗延孟</u>			
(4) その他									
	名称		発表場所等			発表者(発表者は○印)	発表等年月		
1	該当なし								

2. 競争的資金等の研究									
競争的資金等の名称	研到	研究代表者・研究分担者の別			研究期間				
文部科学省・日本学術振興会科学研	家族介護者支援ツ	7TF (\$\frac{1}{2}\) \$\frac{1}{2}\]			0000 4 0000 0				
1 補助金(基盤研究C)	「介護良いこと日	研究代表者	-		2023.4	~2026.3			
3. 教育業績									
(1)講義									
講義の名称	科目責任者	コマ数	概要	(教育内容	・方法等に	おいて工夫し	た点)		
1 該当なし	該当なし								
(2)演習	•								
演習の名称	科目責任者	コマ数	概要	(教育内容	・方法等に	おいて工夫し	た点)		
1 該当なし									
(3) 実習	•								
実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)						
1 該当なし									
(4)論文指導									
対象		期間	主指導・副指導の別及び指導。			及び指導人数	.数		
1 該当なし			主指導		名	名 副指導		名	
(5) その他									
名称	名称 期間				・方法等に	おいて工夫し	た点)		
1 該当なし									
4. 社会貢献活動									
(1)講演会、研修会、公開講座等の	講師								
講演会、研修会、公開講座等の	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ)テーマ		開催年月		
1 現場介護職員によるわたしたちの介 慢大会	浦和大学栗延ゼミ	介護実践現場のノウハウの共有				2024年7月 2025年2月			
┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	埼玉県介護福祉士会	家族や地域の支援力の活用と強化				2024年10月			
(2) 国、自治体、学術団体等における	る委員等								
国、自治体、学術団	体等の名	 名称		委員等の	 名称			任期	
1 埼玉県		埼玉県介護保険審査会委員					2023年~現在		
2 日本ソーシャルワーク教育学校連盟	国家試験合格支援	2021年~現在							
(3) ジャーナリズムでの発言			,						
								年月	
1 該当なし									
(4) その他		•							
項目 相手方等			内	容				期間	
1 該当なし									
5. 学内運営									
項目	項目			内容				期間	
1 該当なし									
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動	に関する	るもの)							
受賞名 主催							受賞年月		
1 該当なし									
7. 特許の取得									
特許名						特許番号		登録年月	
1 該当なし									
8. 特記事項									
1 該当なし									